



四国ブロック



発行人：阿波谷, 大原, 板東, 川本, 澤田
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 大原昌樹・森田宛
Tel. 087-876-1185 Fax. 087-876-3795
E-mail oharamasaki(at)gmail.com

★1 PC 教育の一環として地域医療の現場から住民目線で多職種連携活動により地域包括ケアを学ぶ取り組み開催のお知らせ

愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療学講座 (愛媛) 川本 龍一

健康問題を持ちながら地域で生活する人々との関わりを通じて、その人の価値観やニーズを知るとともに、その人の生活を支える家族、専門職、地域住民と関わり、住み慣れた地域でその人と家族が暮し続けることができるための地域包括ケアシステムの推進に向けた医療関係者の役割を体験から学びます。そのことにより、「病気をもつ人」としてではなく、「生活する人」として対象者を捉える医療関係者としての基本的な能力が養われ、地域包括ケアシステムにおけるネットワークの中で地域づくりや健康づくりに貢献できる考えを持つことを目指します。

1. 対象学生：1年生～3年生の医学生と看護学生 18名程度
2. 実習期間：平成30年3月5日～3月9日
3. 実習場所：西予市立野村病院、野村保健福祉センター、野村町地域包括支援センター、西予市社会福祉協議会本所（野村保健福祉センター）、訪問看護ステーション東宇和／サテライト野村、介護老人保健施設つくし苑（野村病院横）、通所介護事業所野村町デイサービスセンター（特別養護老人ホーム法正園）
4. 実習内容：1) 西予市野村町の概要および医療・保健・福祉の現状について受講し、理解を深めます。
2) 学生は、各学年1名ずつ3名のグループを作り、野村病院医師の外来受診を予定している患者の中から対象者を選定し、家庭訪問および外来受診の同行を行ないます。

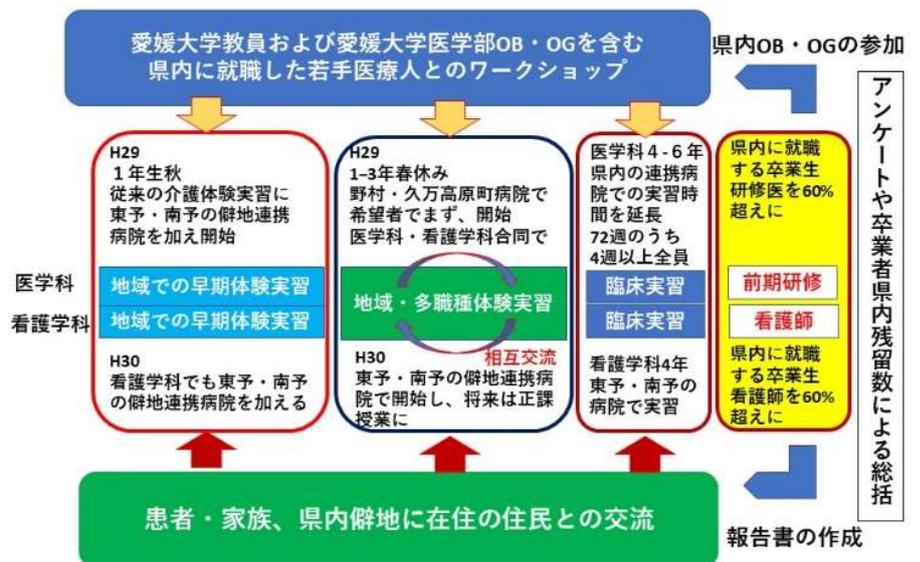
3) 対象者の予定にあわせて自宅訪問またはデイサービス等に参加し、その人の暮らしを体験しながら、対象者のこれまでの生活やこれからの生活に関する希望、現在の生活に関する思いを聴きとります。

4) 保健センターや地域サテライトセンターを訪問し、地域包括ケアシステムにおける多機関・多職種連携・協働について理解します。

5) 個々の健康課題から地域の生活背景を理解し、「高齢者が住み慣れた地域で生活し続けるために必要な社会資源と活用」についてワークショップを行い、地域へ貢献するための自らの考えを報告します。

6) 実習での学び、ワークショップや住民との意見交換からの学びを踏まえ、「地域包括ケアシステムにおける看護師の役割」について、学内で報告する。

愛媛シームレス地域医療人育成プログラム



★2 第58回 全国国保地域医療学会 (10月、徳島市)

学術大会副会長 本田 壮一 (美波病院)

同副会長 白川光雄 (海陽町穴喰診療所)

全国の中山間地には、国民健康保険診療施設(国保直診)が多くある。その市町村立の病院・診療所の集まりである「全国国民健康保険診療施設協議会(国診協)」は、毎年秋に全国学会を開催している。山形県・東京都に続き、2018年は、徳島市で開催予定となった。徳島県では第20回(昭和55年)、四国内では第51回(平成23年、高知市)開催以来となる。

開催日は、体育の日の連休前の平成30年10月5日(金)・6日(土)の2日間(図1)。会場は、アスティとくしま(徳島市)1か所とし、つるぎ町病院事業管理者の沖津修先生が学会長を務める。私や白川光雄先生(穴喰診療所)(図2)は、副学会長として準備している。メインテーマは、「地域包括ケアで日本の未来を切りひらこう～海・山・川の恵みの阿波(あわ)の国での実践～」。

徳島県内では、規模の大きい半田病院や、上勝診療所や相生包括ケアセンターなど、地域包括ケアに長年取り組んでいる施設がある。これらの活動の紹介とともに、今後の地域医療を考える場を目指している。

参加者は、①国民健康保険診療施設に勤務する全ての職員や国民健康保険関係者などに加え、②学会や国民健康保険の発展に志(こころざし)を同じくするもの。国保直診の病院・診療所勤務の医師やメディカルスタッフだけでなく、プライマリ・ケアに携わり、地域包括ケアに興味をもつ医療者や学生も歓迎される。

学会準備では、準備委員として加わった第8回日本プライマリ・ケア連合学会(“PC高松”、平成29年5月)の経験が役立っている。以下に、プログラムや演者を示す。

特別講演は、国文学(中世和歌)の谷知子教授(フェリス女学院大学、徳島県の生まれ)。開設者サミットには、中西嘉巳院長(三野病院)や影治信良町長(美波町)が。そして、シンポジウム(地域包括ケアシステムの新しい展開～徳島での議論を全国へ～)では、白山靖彦(徳島大学)・藤原真治(木屋平診療所)・石本知恵子(牟岐町)の諸氏などが登壇される。また、武久洋三(徳島市)、馬原文彦(阿南市、PC高松でも好評)、岡檀(まゆみ、慶応大学)、木村浩彰(広島大学)、松田晋哉(産業医大)、松尾敬志(徳島大学)、本田美和子(東京都、PC高松で好評)の諸先生の教育セミナーもあり、多職種連携の学びの場となる。さらに、中村伸一先生(福井県)らのワークショップに加え、総合診療専門医について、オーストラリアの若手医師を交え、谷憲治(徳島大学)、大原昌樹(香川県)両先生らとのパネルディスカッションも計画されている。初日の夜は、天水(てんすい)連(PC四国に続く)の阿波踊りを楽しみ、海山川の恵みを用意する予定である。2日目の早朝には、城山周回のファンランも企画している。また、2日目の午後には市民公開講座があり、ジャズシンガーの綾戸智恵さんに、“楽々介護”の演題で講演いただく。

国保診療施設に勤務するPC学会会員に加え、地域医療、地域包括ケアに興味をもつ会員の皆様が、秋の徳島に多く集まることを期待している。(図2:実行委員会にて。右より:沖津会長、白川副会長と本田、徳島市、2018年1月)。

○第58回全国国保地域医療学会(10月、徳島市)⇒

<https://www.kokushinkyo.or.jp/index/society/tabid/58/Default.aspx>

第58回 全国国保地域医療学会

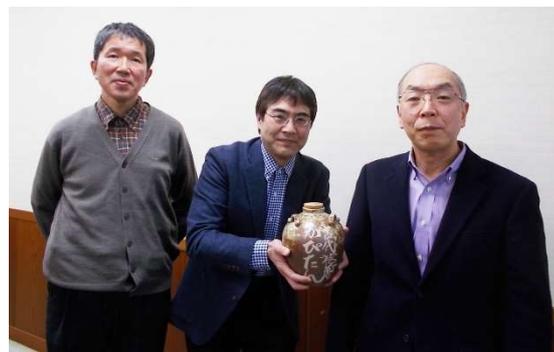
「地域包括ケア」で日本の未来を切りひらこう
～海・山・川の恵みの阿波(あわ)の国での実践～
会期:2018(平成30)年10月5日(金)、6日(土)
会場:アスティとくしま



関寛斎像



眉山からの徳島市



★3 高知臨床推論ケースカンファレンスを2月3日(土)に開催

佐野 良仁 (佐野内科リハビリテーションクリニック院長)

今回、千葉大学の総合診療部・上原孝紀先生をお招きして、高知臨床推論ケースカンファレンスを行いました。上原孝紀先生を高知にお招きする事になったきっかけは、総合診療医ドクターGでも有名な生坂政臣(いくさかまさとも)先生に相談して、「各分野に偏りなく非常にバランスの取れた総合診療医」ということで、生坂先生一押しの御弟子さんです。

そんなわけで高知にお招きするようになって、早くも3年目。その実力を目の当たりにしたカンファレンスでした。

前半は、上原先生の臨床推論・診断に関わる講義、後半は高知からの症例を提示してカンファレンスをしていく。この症例提示は、上原先生には事前にはまったく情報を伏せた、完全にガチンコ勝負のカンファレンスです。

高知では、毎月第4木曜日に開催している私達総合診療医の指導医が集まって行う勉強会があります。その場に一度出た症例で、私はサッパリわからない、かなり色々と検査をして文献を調べてやっと最後に診断に至った、という症例。

それが、我々とは全く違った診断アプローチの切り口でした。「通常は腹膜の癌やリンパ腫、結核の疾患を疑うのですが、

それが否定されたのならば、その部位に限局して炎症が起きて腹水が貯留したのならば、例えば…」と説明した中に、その疾患の病名(IgG4関連の自己炎症性疾患)がさらりと出て来ました!聞いていた我々指導医たちは、度肝を抜かれました。

同じ山でも、登り方には幾通りもある。その中で、こんなにもスマートにたどり着くことができるのか、と、驚きの判断でした。そこまでいけば、後はそれを目指して確認すればいいだけ、ということになります。

症例は難しい症例ですが、診察の経過の中で出て来る浮腫の診かたや考え方、腹水の考え方など、医学生にも判りやすく説明して下さり、大変勉強になりました。

また今年度も、お招きしようと考えております。日程が決まりましたら、四国ブロック支部の皆様にはまたご案内差し上げます。

★4 第21回徳島地域医療教育研究会/第2回徳島総診フォーラムを開催

徳島大学病院総合診療部/徳島大学大学院総合診療医学分野 谷憲治

平成30年2月24日(土)、徳島市内のホテルで第21回徳島地域医療教育研究会/第2回徳島総診フォーラムを合同開催の形で開催しました。この会は徳島大学に地域医療教育関連の講座が誕生した10年前から開催しており、地域医療に関心を持つ医学生と地域医療において診療と教育に関わる医師が参加し、様々な学びとともにお互いの親睦や交流の場にもなっております。今回は、医学生28名、研修医5名、医師17名、総数50名が参加し、特別講演には岡山済生会総合病院リウマチ・膠原病センター長の山村昌弘先生をお招きし、「不明熱の診断 造反有理」のタイトルで行われました。平成29年は徳島大学病院に総合診療部が新設され、我々総合診療医学分野の教室員が診療を担当しております。平成30年度には新専門医制度において総合診療専門医を目指す専攻医教育にも関わってま

第35回 高知臨床推論ケースカンファレンス
総合診療医ドクターG in 高知

千葉大学総合診療部の「総合診療医 ドクターG」、生坂政臣(いくさかまさとも)教授より薫陶を受ける、新進気鋭の若手総合診療医に、高知でカンファレンスをしていただきます。生坂先生ご推薦の若手のホープです。本場の診断過程を共有する絶好のチャンスです。是非ご来場ください!

平成30年2月3日(土)(参加費無料)

講師: 千葉大学大学院医学研究科 診断推論学・医学部附属病院 総合診療科
文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業 講師
うえはら たかのり
上原 孝紀 先生

「診断推論の学び方、教え方とその応用
一経過や発症様式、診断に苦慮した症例集から」

★上原孝紀先生による講演
★ケースカンファレンス(佐野内科リハビリテーションクリニック院長 佐野良仁先生)
★質疑応答

場所: 高知大学医学部レジデントハウス1階
時間: 14:00~17:00 (開場 13:30)
対象: 医療系学生、研修医、医師、医療スタッフ

※本会の開催は、「一般社団法人 高知医療再生機構」の補助事業を活用しています。
※日本医師会認定生涯教育講座/日本プライマリ・ケア連合学会専門医・認定医更新単位を申請予定です。



います。そのような総合診療に関する注目が高まる中、今回の不明熱をテーマにした講演会は、大変タイムリーな内容となりました。



第21回 徳島地域医療教育研究会 第2回 徳島総診フォーラム

この度、下記の予定で第21回 徳島地域医療教育研究会と第2回 徳島総診フォーラムを合同開催いたします。今回は岡山済生会総合病院の山村昌弘先生をお招きし、臨床で診断に難渋することが多く総合診療医に関わりの深い不明熱の診断に焦点をあてた内容で行います。

不明熱を極めよう!

日時：2018年2月24日（土）19:00～
場所：阿波観光ホテル
徳島市一番町
TEL: 088-622-5161



- 開会挨拶: 19:00～
徳島大学病院総合診療部 谷 憲治
- 症例報告: 19:05～19:30
徳島大学・県立海部病院総合診療 稲葉 香織
- 特別講演: 19:30～20:40
「不明熱の診断 造反有理」
岡山済生会総合病院 山村 昌弘 先生
- 懇親会: 21:00～ * 予約制(会費必要)

主催・問い合わせ：徳島大学病院総合診療部
大学院総合診療医学分野
TEL: 088-633-9656

* 参加希望の方は事前連絡をお願いします